

令和6年度 立川市立立川第五中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自ら進んで勉強する人になろう ○ あたたかい思いやりのある人になろう ○ よいことは進んで実行する人になろう ○ 心身ともに健康な人になろう
---------	---

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を基盤に、主体的に学び、向上しようとする生徒 ○課題に対して粘り強く取り組み、やり抜く力をもった生徒 ○規範意識と思いやりの心をもった生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善に継続して取り組む。 ○「生徒が目標達成のための学習に取り組み、自ら振り返ることで今後の学習改善に生かす」という PDCA サイクルの視点をもった授業に取り組む。 ○一人1台タブレット PC、ICT 機器の機能を全教員が活かし、効果的な指導方法の工夫と改善を図る。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に必要な知識や技能を身に付け、言語文化に親しんだり、理解したりすることができる力 ○社会生活に必要な国語についての課題を見だし、課題解決に向けた考えをもち、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科や総合的な学習の時間との連携から、授業を多角的な視野で見直し、学習指導の方法を工夫する。 ○主体的・対話的で深い学びを実現するために、グループワークを工夫し、協働的な学びの充実を図る。 ○生徒が自分に合った目標を設定し、自らの課題を生徒自身が確認し、次の学習に生かせるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に社会にかかわろうとする力 ○現代社会の様々な事象について多面的・多角的に考察する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在、社会で起きている様々な問題に触れ、課題解決に向けての取組ができるかについて考える機会を単元ごとに設定する。 ○資料の読み取りや、少人数での話し合いを通して、多様な意見を聞き、そこから考察し、自分の考えを他者へ説明する活動を取り入れる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解し、基礎的・基本的な計算をする力 ○数学的な考え方を活用して、事象を論理的に考察し、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な問題の演習や振り返り学習を充実させ、学習内容の定着を図る。 ○多様な演習問題や解法の共有を行い、多角的な見方や系統立った考え方ができるように、話し合い活動の充実や ICT 機器の積極的な活用を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能の定着 ○日常生活との関連性に気付き、自ら探究する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で理科用語、実験・観察に関する内容等の小テストを定期的に行うとともに、プリント課題・一人1台タブレット PC を活用して、自宅での学習習慣を身に付けさせ、学力の定着を図る。 ○授業を通して、普段の生活の中での多くの事象に理科がかかっていることに気付き、教科としての面白さや有用性を味わえるようにする。

音楽	<p>○音楽を愛好する心情や音楽に対する感性</p> <p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、他者と協力し、音楽文化と豊かにかかわる力</p>	<p>○学習活動の中で、様々な音楽のもつ固有の価値について、その類似点や相違点を探し、多様性を理解できるようにする。</p> <p>○音楽の特性を踏まえ、主体的な学びを通して、目標を設定させ感受する力や表現力を高める指導を工夫する。</p>
美術	<p>○自ら主題を生み出し、豊かに発想し構想を練る力</p> <p>○造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫して表す能力</p> <p>○創造活動の喜びを味わい美術を愛好する態度</p> <p>○見方・考え方の違いを感じ取り、受け入れる力</p>	<p>○ワークシートを活用して多角的に構想を広げ、自らの表現方法を見付けることができるように指導する。</p> <p>○様々な素材や用具に触れる機会をつくり、意欲的に課題に取り組むことができるように指導する。</p> <p>○ワークシートを活用して客観的に活動を振り返り、知識の定着と思考の整理ができる授業を実践する。</p> <p>○鑑賞活動を通して、他者の考え方や表現方法に触れる機会をつくる。</p>
保健体育	<p>○自己の役割を果たし、互いに協力する中で、一人一人の違いを認めようとする態度</p> <p>○運動における自己の課題を見付け、合理的な解決方法を考え、他者と伝え合う力</p> <p>○全身持久力、敏しょう性(新体力テスト結果より)</p> <p>○思考・知識の言語化</p>	<p>○準備や片付け、審判などの分担した役割を果たすとともに、ペアやグループで学習を支援し、積極的に活動できるようにする。</p> <p>○自分自身の振り返り、相互評価により各自の課題、その解決方法を見付けるとともに、ペア、グループワークを通してさらに合理的な解決方法を考える授業を実践する。</p> <p>○長距離走の授業の充実と、ウォーミングアップの工夫を図る。</p> <p>○ICT 機器の活用(振り返りなどのまとめなど)及び調べ学習でのプレゼンテーションの工夫をさせる。</p>
技術家庭	<p>○持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度</p> <p>○よりよい生活の実現に向けて必要な基礎的な知識の定着や技能の習得</p> <p>○知識・技能を生かして、生活の中の課題を解決する力、生活を工夫し創造する態度</p>	<p>○授業内で ICT 機器を活用し、情報の視覚化をすすめる。</p> <p>○個別最適な学びを促進し、生徒自ら進度や課題を確認しやすいよう工夫する。</p> <p>○身近な話題から授業を展開することで、生活の中の課題を自分の事として見だし、課題解決できるようにする。</p> <p>○グループで学び合う学習形態を設定し、学びを深められるようにする。また、家庭で実践する課題を設定する。</p>
外国語	<p>○知識・技能を身に付けて、伝えたいことや知りたいことを英語で表現できる力</p> <p>○外国語の背景にある文化に対して興味をもち、コミュニケーションを通して異文化を理解しようとする態度</p>	<p>○新出文法の導入や口頭練習を計画的に行い、基本的な知識技能の定着を図る。パフォーマンステストを計画的に取り入れて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>○身近な日本文化との対比から、異文化について主体的・対話的で深い学び合いになるように、ペアワーク・グループワークの学習形態を取り入れる。</p>